

## 「クラフトデザイン」の授業評価

美術教育講座・原田義明

### 1．授業の目的と概要

本授業は，造形芸術コース及び学校教育実践コース（美術教育専修）の3回生を主対象とした授業であり，後学期に開講されている。授業では，様々な造形素材の中から幾つかを取り上げ，作品制作を通して，素材の特性を理解し，これを各自の制作意図に反映させながら，生活のための「ものづくり」について学習する。

なお，本年度の受講生は8名（全員3回生）である。

### 2．授業の内容

受講生は，1年次に各課程・コースの工芸に関連した授業である「工芸演習」「工芸基礎演習」を履修しており，工芸に関する基礎的な知識は備わっていることを前提に，各素材ごとに課題を設定し授業を進めた。また，ガイダンスでは授業の流れを理解させる目的で受講生に授業予定表を配布した。そして，毎回授業の導入部分では，その日の授業内容や道具・素材・技法について説明を行った。

### 3．授業の工夫と改善

今回は，以下の項目を主に工夫と改善に努めた。

#### （1）計画性を持った制作

工芸は，素材と技法，そしてプロセスが不可分に連動している分野であり，いかに計画的に制作を進めるかが，作品の完成度にも影響を与える。今回は授業の始めに，授業内容を説明した後，達成目標を設定し，受講生が計画的に制作を行うよう工夫した。

#### （2）合評会の充実（他者の作品を鑑賞する）

合評会に入る前に他者の作品を鑑賞する時間を設けた。これは他の授業でも数年来実施しているが，鑑賞を通して実際に作品に触れる中で，他者と自己作品を比較することで，互いの違いや良さ，問題点を明確化させることになり，次の作品制作の動機付けにもなると考える。合評会では，自己作品の発表と他者の作品の感想も求めた。

### 4．授業改善のためのアンケート

授業の最終日にアンケート調査を実施した。問14までは，5段階評価で行い，強くそう思う（非常に良い） ややそう思う（良い） どちらとも言えない（普通） あまりそう思わない（あまり良くない） 全くそう思わない（良くない）とした。なお，問12の回答は，はい いいえで答えることとし，問15～17は記述式の設問とした。 回答者7名

### 5．アンケートの結果

#### 【授業の内容に関する質問】

1．授業のテーマ・目的は授業展開の中で明確でしたか。

6名 1名

2．この授業の内容・レベルはあなたにとって適切でしたか。

6名 1名

3．この授業で，あなたのこの分野への興味・関心は向上しましたか。

4名 3名

4．この授業により，自分の考え方が培われたり，得るところがありましたか。

4名 3名

#### 【授業方法に関する質問】

5．担当教員の話し方や説明はわかりやすかったですか。

6名 1名

6．担当教員の熱意。工夫は感じられましたか。

6名 1名

7．制作中のアドバイスの内容は適切でしたか。

7名

8．この授業では，教材や資料が工夫されていましたか。

3名 4名

9．授業の中で質問や意見発表の機会が与えられ，教員はそれに適切に対応していましたか。

7名

#### 【受講生自身に関する質問】

10. あなたのこの授業への出席状況はどうですか。

3名 3名 1名

11. あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

4名 3名

12. この授業の受講に際し、シラバスを読みましたか。

4名 3名

#### 【授業全体に関する質問】

13. この授業のテーマ・目的は達成されましたか。

2名 5名

14. この授業は、満足のいくものでしたか。

6名 1名

以下15～17の設問は、誤字・脱字などを除き受講生の記述をそのまま転記する。

15. 実習室の状態や学生数など受講環境について意見があれば記述して下さい。

人数があまり多くなかったため、活動しやすかった。

実習室では、作業をするための道具もたくさんそろっていて、用途によって、それぞれ使い分けることができたので良かったです。人数も多過ぎず少な過ぎず、丁度良かったと思いますが、人数がもっとたくさんいれば、もっと多くの作品を見ることができたかなあと思いました。

時計を置いて欲しいです。

少人数で作業がしやすい。

人数はちょうどよくて集中できるが、時計がないので少し困る。

丁度良かったと思います。

時計が欲しいです。

16. この授業で良かったと思う点、印象に残った点を記述して下さい。

新しい知識、展開が得られました。他に生かせると思います。

「使うことを目的にした作品づくり」というテーマがあるけれど、作るものは普段使わない物が多く、逆にいろいろ遊ぶことができて面白かった。

普段できないような体験ができた。

鑄造が見れたのが良かったです。感動しました。

自分のアイデアが形になるということは、本当に素晴らしいものだなあと感じました。課題が2つありましたが、それぞれについて初めての経験となりました。どちらも特性を知

り、その良さと悪さをそれぞれ理解することが、良い作品をつくることにも繋がることだと感じました。

こちらの都合で欠席をしてしまったが、他の時間で補わせてくれた。

17. この授業で良くなかった点、改善すべき点を記述して下さい。

あまり使わない(実用的でない)ものが課題になっていたので、他の物にした方がいいかもしれない。

人数がそこまで多くなかったので、休みが増えると(注:欠席者が多い場合を指すのか?)何だか活気が無くなってしまふ点です。

時計が欲しい。

自分の出席くらいです。時計がないので欲しいです。

#### 6. まとめ

授業アンケートでは、概ね良好な評価を得ることができた。だが、これを素直に受け入れ難い部分もある。記述部分に「実習室に時計が欲しい」との要望が多くを受講生から寄せられた。確かに授業の工夫と改善の(1)計画性を持った制作に関連し、授業の中で制作における時間配分や計画的に作業を進めることの大切さを度々説いたが、もし、これに関係しての希望で、制作に対する前向きな姿勢の表れであれば良いが、しかし、授業者の意図を表面的に捉えてのことであれば、いささか問題である。このことについて、今回の授業全体を振り返り考察する必要を感じた。(2)合評会の充実に関しては、他者の作品鑑賞を通して自己の作品を問い、問題点を明確化し、合評会での個々の作品発表がより充実することを期待した。しかし、全体に発表についての意欲や意識は必ずしも高いとは言えず、また、作品発表に対する積極的な質問や意見も特定の受講生に限られ、こちらの意図したものとは違った形となった。合評会の内容や進め方を再考する必要がある。

今回の授業では、授業者として“何を伝えるか、何が伝わったか”ということを経験の端々で考えさせられた。改めて今後の課題としたい。